

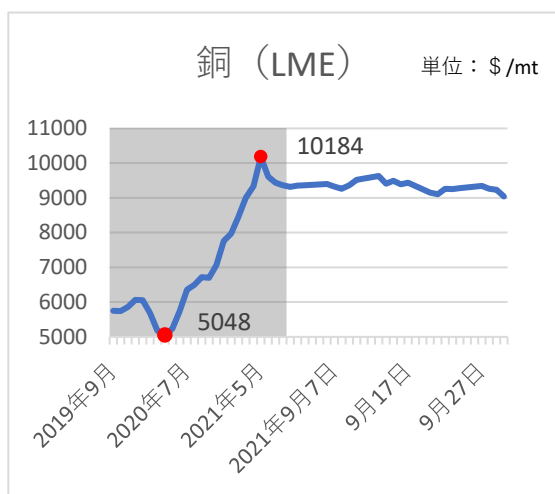
非鉄金属概況

日本鉱業協会 企画調査部

銅

【海外】

1. 価格推移



- ・ 月前半は \$9,500 近辺を推移
- ・ 中旬は中国恒大集団債務危機で小幅に下落し、9月21日は1か月ぶりの安値となる \$9,106

(2019年9月～2021年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際銅研究会 (ICSG) の 9 月 20 日発表によると、2021 年 1～6 月の世界の銅需給実績は以下のとおりで、需給バランスは 2 千tの供給不足だった。

<2021年1～6月の世界の銅需給実績表>

単位: 千トン

	2021年1～6月 実績	2020年1～6月 実績	増減率	2021年間予測 (2021年5月発表)
鉱石生産	10,380	9,899	+4.9%	21,321
地金生産	12,313	11,933	+3.2%	25,167
地金消費	12,315	11,866	+3.8%	25,088
需給バランス	-2	+67		+79

(うち、中国の銅需給実績)

	2021年1～6月 実績	2020年1～6月 実績	増減率
鉱石生産	925	817	+13.3%
地金生産	5,080	4,794	+6.0%
地金消費	6,671	6,574	+1.5%

(出典) 国際銅研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月3日	9月9日	9月13日	9月15日	9月21日	9月27日
1,100	1,080	1,070	1,110	1,080	1,030	1,080

2. 銅地金生産・出荷・生産者在庫(2021年8月分=令和3年8月分)

	2021年8月	2021年7月比	2020年8月比
生産	131,123 t	+0.2%	-3.2%
出荷	119,801 t	-9.8%	-9.8%
在庫	107,238 t	+11.8%	-7.4%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は4か月連続の減少となった。出荷は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は4か月連続の減少。内訳は内販が前月比20.4%減、前年同月比31.3%増の6.3万tで、それぞれ2か月連続の減少と6か月連続の増加。内販のうち電線向けは前年同月比17.8%増の4.0万tで6か月連続の増加、伸銅品向けは前年同月比75.5%増の2.3万tで5か月連続の増加。在庫は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は5か月連続の減少となった。

3. 需要部門別動向

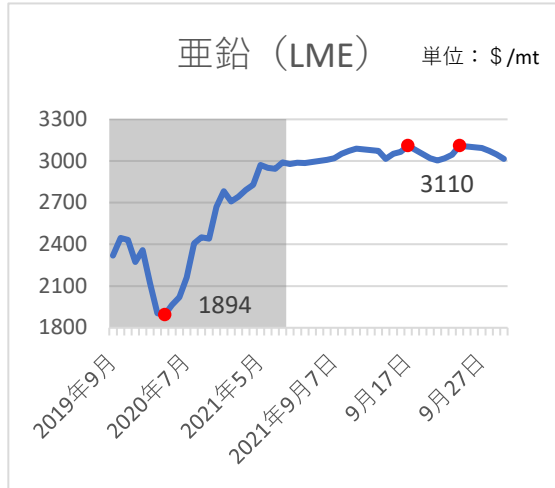
(一社)日本電線工業会によると、2021年8月の銅電線出荷は前年同月比3.1%増の4.6万t(推定)と5か月連続の増加となった。うち内需は前年同月比2.2%増の4.5万tで6か月連続の増加、輸出は56.0%増の1,100tで5か月連続の増加。内需の部門別では、電気機械が12か月連続、自動車が11か月連続、通信が7か月ぶりの増加、建設・電販が3か月連続、電力が7か月連続の減少となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年8月の伸銅品生産は前年同月比50.6%増の5.5万t(速報)と8か月連続の増加となった。品種別には、半導体、コネクタ、自動車端子向けの銅条が前年同月比56.4%増で11か月連続の増加。自動車端子向けの黄銅条は70.0%増で10か月連続の増加。コネクタ向けの青銅板条は42.3%増で6か月連続の増加。エアコン向けの銅管は19.2%増で5か月連続の増加となった。

亜鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 前月に引き続き \$ 3,000 近辺を推移
- ・ 9月17日、24日は2018年6月以来の高値となる \$ 3,110

(2019年9月～2021年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の9月22日発表によると、2021年1～7月の世界の亜鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは1.1万tの供給過多だった。

<2021年1～7月の世界の亜鉛需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	7,325	6,657	+10.0%	12,924
地金生産	8,151	7,806	+4.4%	14,128
地金消費	8,140	7,386	+10.2%	13,775
需給バランス	+11	+420		+353

(うち、中国の亜鉛需給実績)

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	2,247	2,155	+4.3%
精鉱輸入	1,029	1,093	-5.8%
地金生産	3,762	3,545	+6.1%
地金輸入	298	243	+22.4%
地金消費	3,944	3,645	+8.2%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月8日	9月13日	9月17日	9月27日
382	388	397	388	394

2. 亜鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年8月分=令和3年8月分)

	2021年8月	2021年7月比	2020年8月比
生産	45,557 t	+58.4%	+3.2%
出荷	40,366 t	-11.2%	-7.3%
在庫	59,476 t	+9.6%	-11.6%

(出典)日本鋳業協会

生産は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は6か月連続の増加となった。出荷は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は11か月ぶりの減少となった。在庫は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は9か月連続の減少となった。

3. 需要部門動向

2021年7月の亜鉛めっき鋼板生産は前年同月比57.9%増の81.1万tで、5か月連続の増加となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年7月の伸銅品生産は前年同月比49.5%増の66,034t(確報値)で、7か月連続の増加となった。黄銅製品では、黄銅条が87.0%増の8,385tで9か月連続の増加。黄銅棒が46.2%増の15,098tで6か月連続の増加となった。

亜鉛関連製品生産統計(2021年7月分=令和3年7月分)

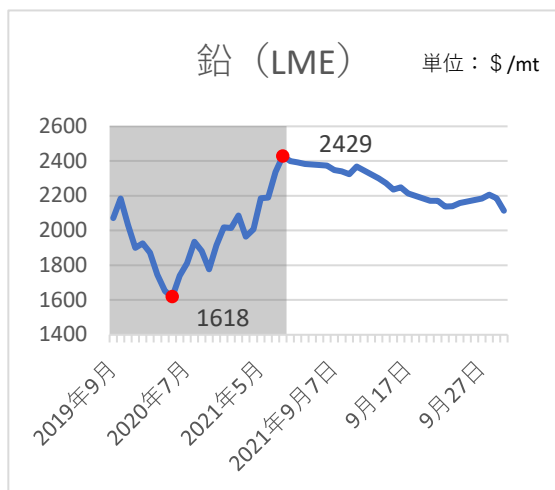
	2021年7月	2021年6月比	2020年7月比
亜鉛めっき鋼板	811千t	+1.8%	+57.9%
黄銅製品	26,786 t	-7.1%	+60.2%
亜鉛ダイカスト	1,625 t	+10.2%	+109.0%
酸化亜鉛(亜鉛華)	5,535 t	-5.2%	+85.7%

(出典)一般社団法人日本鉄鋼連盟、経済産業省生産動態統計調査

鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 3年ぶりの高値を付けた前月から下落傾向、\$2,400 近辺から \$2,200 近辺へ推移

(2019年9月～2021年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の9月22日発表によると、2021年1～7月の世界の鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは9.6万tの供給過多だった。

<2021年1～7月の世界の鉛需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	2,623	2,471	+6.2%	4,748
地金生産	7,116	6,658	+6.9%	12,068
地金消費	7,020	6,483	+8.3%	11,972
需給バランス	+96	+175		+96

(うち、中国の鉛需給実績)

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	1,065	1,040	+2.5%
精鉱輸入	357	393	-9.0%
地金生産	2,948	2,713	+8.7%
地金輸入	12	21	-41.0%
地金消費	2,830	2,719	+4.1%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月14日	9月27日
327	318	300

2. 鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年8月分=令和3年8月分)

	2021年8月	2021年7月比	2020年8月比
生産	15,797 t	-13.9%	-9.4%
出荷	14,285 t	-18.7%	-6.5%
在庫	13,860 t	+10.6%	-39.6%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比、前年同月比ともに2か月ぶりの減少となった。出荷は前月比が2か月連続の減少、前年同月比は7か月ぶりの減少となった。在庫は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は10か月連続の減少となった。

3. 需要部門動向

2021年7月の自動車生産台数は前年同月比4.7%増の73.1万台で、5か月連続の増加となった。また、二輪車生産台数は前年同月比73.9%増の5.8万台で、6か月連続の増加となった。

(一社)電池工業会によると、2021年7月の自動車用鉛蓄電池のメーカー販売個数は、新車用、補修用、二輪車用を合わせた総合計で186.4万個(前年同月比1%増)と5か月連続の増加、自動車用以外の鉛蓄電池は47.0万個(4%増)と2か月連続の増加となった。その結果、鉛蓄電池のトータル出荷は233.4万個(1%増)となった。

鉛関連製品生産統計(2021年7月分=令和3年7月分)

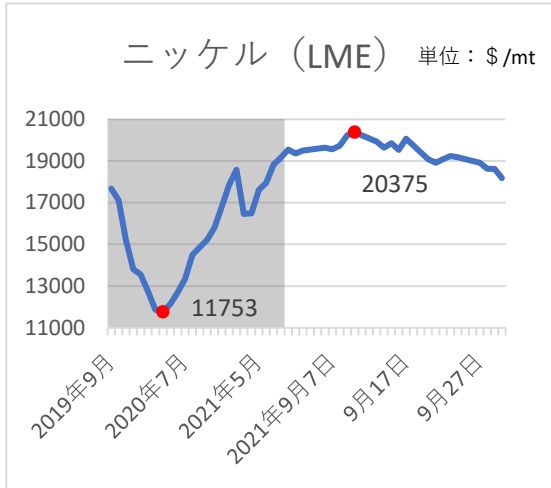
	2021年7月	2021年6月比	2020年7月比
自動車	730,509台	-0.9%	+4.7%
自動車用鉛蓄電池(鉛量 t)	16,644 t	-0.4%	+12.1%

(出典)一般社団法人日本自動車工業会、経済産業省生産動態統計調査

ニッケル

【海外】

1. 価格推移



- ・ 上旬は需要増加と供給懸念で上昇し、9月10日は2014年5月以来となる\$20,375

(2019年9月～2021年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際ニッケル研究会(INSG)の9月22日発表によると、2021年1～7月の世界のニッケル需給実績は以下のとおりで、需給バランスは15.9万tの供給不足だった。

<2021年1～7月の世界のニッケル需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	1,506	1,289	+16.9%	2,824
地金生産	1,478	1,403	+5.3%	2,718
地金消費	1,637	1,323	+23.8%	2,673
需給バランス	-159	+81		+45

(うち、中国のニッケル需給実績)

	2021年1～7月 実績	2020年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	62	60	+3.9%
地金生産	398	433	-8.0%
地金消費	927	766	+21.0%

(出典) 国際ニッケル研究会

【国内】

メタルニッケル生産・出荷・生産者在庫(2021年8月分=令和3年8月分)

2021年8月の生産量は2021年7月比18.4%増、2020年8月比9.8%減の4,971 tで、それぞれ2か月連続の増加と4か月連続の減少となった。

金

【海外】 価格推移



- ・ \$1,800 台から \$1,700 台へ推移
- ・ 9月16日は米小売売上高の増加発表で約 \$50 下落

(2019年9月～2021年8月の値は月平均)

【国内】

1. 建値推移(円/g)

9月1日	9月2日	9月3日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日
6,452	6,445	6,427	6,476	6,474	6,400	6,361	6,358
9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月21日	9月22日	9月24日
6,345	6,365	6,379	6,330	6,229	6,244	6,269	6,234
9月27日	9月28日	9月29日	9月30日				
6,282	6,277	6,254	6,246				

2. 金地金生産・出荷・生産者在庫(2021年8月分=令和3年8月分)

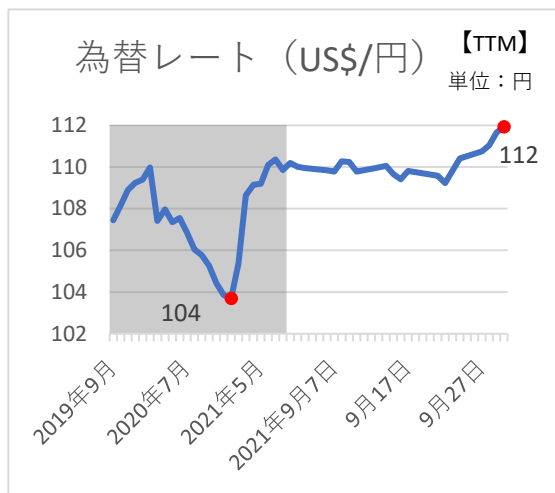
	2021年8月	2021年7月比	2020年8月比
生産	7,714kg	-14.1%	-3.5%
出荷	8,312kg	-6.0%	+5.9%
在庫	3,747kg	-13.8%	-8.9%

(出典) 経済産業省生産動態統計調査(生産と出荷の前年同月比については、以前の実績との間で不連続を生じたため、連続性を確保したもので計算)

生産は前月比が4か月ぶりの減少、前年同月比は5か月ぶりの減少となった。出荷は前月比が4か月ぶりの減少、前年同月比は4か月連続の増加となった。在庫は前月比が6か月ぶりの減少、前年同月比は3か月ぶりの減少となった。

為替相場

為替相場推移



- ・ 中旬までは \$1=110 円近辺を推移
- ・ 下旬は米 FOMC の利上げ想定時期前倒しで上昇、9 月 29 日は \$1=111.65 円

(2019 年 9 月～2021 年 8 月の値は月平均)